

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	<b>会 報 第 193 号</b>	2017年8月23日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠
---------------------------	--------------------	--

### 1. 活動報告（事務局 記）

—7月29日（土）15名の会員により、作業と協議を行いました。

作業内容

- ① 水路周辺および草原ゾーンの除草
- ② 水路の清掃
- ③ 刈り取った草の除去（湿地帯周辺）
- ④ 須賀河内川の点検（観察隊の準備）

協議内容

水車の今後について（結論は、そのまま回転せず飾りとして置く）

E S D環境プログラムの説明

アンカからの環境教育活動支援について（結論は、申請しない）

—8月5日（土）今日の参加者は、会員11名、親子自然観察隊41名（親19名、子22名）、福川子どもクラブ15名、厚東川中8名（生徒7名、先生1名）、岡村さんの孫の計76名でした。

行事は、親子自然観察隊は主に須賀河内川の水棲動物観察で川登をしました。ビオトープへ残った幼児と親は、ビオトープで水棲動物を観察し、ワナも3か所掛けました。

厚東川中は、ボランティアの一環として田んぼの除草とイナゴ捕りをしました。

福川子どもクラブは、11日の行事のために親子自然観察隊の後を川登されました。

捕まえた生き物を同定し逃がし、最後にソーメンとスイカを食べて解散しました。

暑い中ですが、皆さん元気に楽しみました。スタッフの皆様ご苦労さまでした。

—8月11日（金）福川子どもクラブが「ビオトープの清流探険」に来られました。午前には須賀河内川を清瀬峡まで登り、川の生き物を調査し、滝ではジャンプに挑戦でした。午後は水や生き物について学び、ビオトープの生き物も調査しました。参加者は、子供36名、大人17名、つくる会3名でした。

見つかった生き物は、カワムツ、ドンコ、ヨシノボリ、ヌマエビ、スジエビ、サワガニ、モクズガニ、トンボのヤゴ（コヤマトンボ、コシボソヤンマ、キイロヤマトンボ、ヤマサナエ、コオニヤンマ）、トビケラで、ビオトープそばでオヤニラミでした。

—8月17日（木）午後5時臨時招集にて田んぼの大量発生イナゴの捕獲を4名の近くの会員にて行いました。

（7月29日の活動で刈った草を使って風向きの良い日に煙にていぶし対処しましたがそれほどの効果を得られず改めて人的に捕獲しました。）

—8月20日（日）会員14名の参加がありました。活動内容は

- ① 草原ゾーンの草刈り
- ② 駐車場の草刈り
- ③ 草原ゾーン除草（刈り取った草の撤去）

参加された皆様、猛暑の中お疲れ様でした

## 2. 今後の予定（事務局 記）

◎来訪者

予定はありません

◎行 事

- 9月3日（日）維持活動・草刈り
- 9月9日（土）親子自然観察隊（秋の昆虫）
- 9月30日（土）維持管理（草刈り）

## 3. 来訪者の声

今回はありません。

## 4. 会員の声 「故障」（原田満洲夫 記）

故障は続くと言うお話 ビオトープでは

ある漫才師の言葉を借り受ければ「故障休転ガラガラ」と云えるビオトープのシンボル水車が再びその様になった。故障解決の主だった資金が不足してそのまま回転せずシンボルとして保存することになったが、8月の「愛は地球を救う24時間テレビ」の収録に名乗りを上げたものの、回転しない水車を放映するわけはいかないと何とか収録日までに仮補修をしてその場を逃れた。最低速度で出来るだけ主軸に負担のかからないバランス取りや、回転スピードの最低化を図って1か月半何とか訪問者の心の安らぎを与えてくれた回転が又もや軸受けの問題でビオトープの水車「閉店ガラガラ」となった。

ガラガラとお店のシャッターはないが傍に立って見学は出来る。乞う「開店ガラガラ」

我が家では 7月に入って続いて9日～26日までの間

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| ① 井戸ポンプの故障(軸シール部の摩滅) | → 中古品と交換         |
| ② 電子レンジの内部回転盤受け破損    | → 新品購入           |
| ③ 電気オーブンのヒータ切れ       | → 新品購入           |
| ④ マッサージ器の座椅子部摩耗穴あき   | → 新品購入           |
| ⑤ パソコンのインターネット故障     | → パソコン本体に付き電器会社へ |

次は何が故障するか戦々兢兢の今後が続く！

“買い替えて 経済活性 寄与となり”

## 5. 親子自然観察隊

### 1. 川のいきもの ～須賀河内川探検～ (関根雅彦 記)

川の探検にはもってこいの暑い日です。子供2人、大人15人、スタッフ3人の大部隊、子供は救命胴衣とヘルメットをつけ、東屋上の橋の下流端から川に入ります。大きなカワムツがお出迎え。思いのほか深く、早速喚声があがります。みんなが川に入るのを待つ間にも、待ちきれずに魚を捕り出す子供たち。さあ、出発です。短い岩場とヨシの狭いトンネルを越えると、取水堰の登り。今年は大雨だったのか、この淵でも既に泳げる深さ。全身ずぶ濡れで堰の石積みを登ります。堰上からしばらくは砂底のトロ。各自熱心に魚を捕りながら進むので、隊列も前後に大きく開きます。次第に川底も礫となり、浅くなってきたと思ったら、例年はなんでもない倒木の下が今年は結構深い淵になっており、川の流れが速かったことをうかがわせます。この間、捕れるのはほとんどカワムツでしたが、ドンコやヨシノボリ、スジエビ、それに大きなモクズガニなども捕れました。父滝の淵では、子供たち2人で投網の左右を持って打ちます。捕れたのはやはりカワムツです。ここは急に深くなる淵で、不意に落ち込む子供達。大人でも足がつくつかないか、いつもなら私はロープなしで登るのですが、今年は最初の一步の足掛かりに足が届きません。無様な登り方を見せないために、あらかじめロープを垂らしておき、事なきを得ました。次は優しい母滝。登りきると、深くなったトロが続きます。ドンコ、ヌマエビ、コヤマトンボのヤゴなどが捕れました。林に入ると岩場続き。川底の砂が洗い出されて思わぬところに深みができ、油断していると危うい。まだ泳がなければならぬ場所も残っています。ワイワイ言いながらゴール！記念写真を撮り、ビオトープに帰ってワナを回収すると、追星の出た大きなカワムツや絶滅危惧種のオヤニラミが捕れていました。

例年捕れるムギツクやイトモロコを見なかったこと、シマドジョウが何年も捕れていないことなど心配もありますが、みんな熱心に魚も捕ったし、今年は特に楽しかったとの声も多かった。良かったです。また来年！



母滝を登ります



清瀬峡のゴールで全員集合

### 2. ビオトープ観察会・川の生き物観察・水田整備 (観察隊体長 管哲郎 記)

朝からの好天の中、観察会が行われました。観察会に並行して、地元厚東川中学校の生徒、先生8名と、福川こどもクラブの指導者15名が別に参加、水田の雑草除去と害虫(イナゴ)の駆除、11日に行われるこどもクラブの川登りの下見が行われました。本日の川登りに参加できない隊員1家族がいましたが、須賀河内川に魚類のわなを仕掛ける会員に同行し、いっしょに楽しんでいただきました。

川登りは関根会員、原谷会員が中心になり全員を引き連れお世話いただきました。厚東川中学校の先生、生徒は原田（満）会員が指導し、魚の罫は前田会員と副会長に担当していただきました。イナゴの駆除は思った以上に大変で、やむを得ず隊長も裸足になり補虫網を手に取り、イナゴの駆除を手伝いました。イナゴは水田の中心部分に多く、台風5号の影響で風が強かったのですが、生徒たちも頑張って2カゴ分のイナゴが駆除されました。

日差しが強く暑いので、休憩を交えながら無事作業を終えました。また、二俣瀬地区の子供達でも、イナゴを気持ち悪いと感じている生徒がおり、驚きました。

11時過ぎには全員無事に行事を終え東屋に帰り着きました。本日は参加者全員に、会より心づくしの「ソーメン」と「スイカ」がふるまわれ、暑さを忘れ食べていただきました。ソーメン、スイカとも十分に食べていただいたと思われ、お世話した甲斐がありました。

まかないの準備は隊員のご家族に手伝っていただき、なんの心配なく滞りなく食事の準備を終えました。早朝より様々な準備をしていただいた会員の皆様や、隊員のご家族に心よりお礼申し上げます。



雑草除去とイナゴ駆除する生徒たち



捕獲されたイナゴ

### 親子自然観察隊の感想

#### ★三隅さん（母）

先日は貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。冒険心をむき出しに自然の中で笑顔いっぱいの我が子に感動しました。声をかけあえる友達と助け合っていたり分かち合っていたり、、、。本当にいい経験になったと思います。夢中になりすぎてペースダウンしてしまい、先頭チームよりずっと時間をかけてのゴールでご迷惑をおかけしました。来年は一緒に川に入り、共に楽しみながら、先へ先へおしりを叩いて歩きたいと思います。ありがとうございました。

#### ★三隅悠人

つかれたけど楽しかったです！！友達もいたし、先生と虫の話もたくさんできたし、また来年も行きたいです。やごが捕まえた魚を食べていて、弱肉強食を見ました。もっといろいろな生き物を捕まえて観察してみたいです。

#### ★辻岡さん（母）

川登りは、暑い中で川水が気持ち良さそうで、母親の私が行きたくてそちらに参加しました。4年生と2年生の姉妹もお友達のお父さんに助けて頂きながら、沢山の魚を捕まえ、滝を登ることもできました。虫が苦手な妹も、コツをつかんで網に入るようになってからは優しく手から籠に移していました。普段、女の子っぽい遊びしかしない姉妹に、水浸しになりながら山で

魚を捕まえるという貴重な体験をさせてあげることができました。また、お昼ごはんも沢山用意していただき、ありがとうございました。秋の昆虫も楽しみにしています。

★川口颯太

いっぱい🍗が取れました！ 10匹以上取れたので、嬉しいです😊

最後、そうめんを食べたのが心にのこりました。

★有吉遼

川には、魚がたくさんいて見つけるのが楽しかったです。オヤニラミを水族館以外で見たのは初めてだったので、嬉しかったです。

★有吉さん(母)

足がとどかないような深み、滝登りなど、なかなか経験できないことに挑戦できて、最高の思い出になりました。キラキラした子ども達の顔がとても印象的でした。そうめんやスイカなど準備していただき、最後まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

★下川航平

魚は小さいのばかりしかとれなかったけど、最後にでっかいカワムツを二匹捕まえたのでうれしかったです。そうめんをいっぱい食べました。

★下川拓実

途中で大きなカニを見つけたけど捕り損ねました。結局捕れたのは小さいカワムツ4匹でした。スイカがとてもおいしかったです。

★橋本さん(母)

川を登り終え、帰り道はあっという間で、もっと長い距離に感じました。先月欠席だったので、大きくなった稲が急に景色を変えたようで、びっくりでした。川登り、下の子は、田植えの時と同様、いきなりぬかるみに入り、びっくりしたようでしたが、そのうちに、川魚を一生懸命に探して、楽しんでいました。上の子は、沢山つかまえて、喜んでました。あんなに、川は、冷たくて、子どもの頃を思いだし、昔が懐かしくなりました。大人でも、深いところもあり、子ども達びっくりしてましたが、岩場など、皆で助け合って、とても、楽しかったです。沢山のソーメンとすいかをいただき、大変美味しかったです。家族皆で、楽しかったねと、話しました。毎回、お世話して、いただてる皆様に感謝です。二俣瀬のビオトープもですが、回りのことも、次は知りたくなりました。本当に、ありがとうございました。

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(20) ナナホシテントウ *Coccinella septempunctata* Linnaeus

コウチュウ目 テントウムシ科

皆さんおなじみのかわいい昆虫です、日本全土でみられ春一番3月より11月まで見られます。私たちの生活の中では、庭の花などにとりつくアブラムシを退治してくれる頼もしい味方でした。しかし、農薬の発達によりアブラムシも庭先から駆逐され、テントウムシの姿を見る機会が少なくなっています。しかし、野山に出てみますと、田んぼや畑のそばの雑草では相変わらず可愛いテントウムシが無心に活躍している姿が見られ、安心します。

また、別な機会に取り上げますが、「ナミテントウ」がいます。これは背中中の模様がいろいろあり、同じ種類ではないと思っていたのですが、「ナミテントウ」とされていました、不思議です。



ナナホシテントウの幼虫



ナナホシテントウの成虫

【 ナミテントウのいろいろ 】 背中中の模様がそれぞれ違います



## 7. 会よりの連絡事項

1、「うべの里アートフェスタ」10月4日～11月29日に二俣瀬校区の4大活動の一員として参加することになりました。その地域で特に活動される団体・個人の活動状況を写真撮影して掲示紹介すると云うものです。

写真撮影が8月10日の活動日以外のため一部の方のみの参加でしたが“里山ビオトープを守る”人達とのうたい文句になろうかと云われました。

二俣瀬では他1、(永山酒造・永山貴博社長) 2、(ダムของ郷・理事の皆様) (3、唐変木・久保田哲夫代表) それぞれが紹介されます。

2、**水車の今後** 又もや水車の軸受け(ピローブロックメタル)の破損が発見され回転休止をしております。ビオトープのシンボルとして何とか回転できて保存を望みましたが、7月15日の撮影に向かって仮補修で行いましたがやはり短い命でした。

先の活動日の協議において、新作・徹底補修・解体・現状で保存等々の意見が、たくさん出されましたが、取敢えず注水を行わずそのまま固定で置いて資金を募る方法を話がつままりました。2～3年で腐食も起こり台風などで破壊の可能性も考慮し、早めの資金の調達を行って新作品と取り換えたいものです。

3、長年使ってきた肩負い草刈機が故障し皆様に迷惑をおかけしましたが、8月21日に2台ともJA北部農機センターに修理依頼しました。

## 8. 編集後記

今年も暑い夏が来てます、ニュースでは今年もやはり熱中症で死者が出ています。そんな中、本日8月20日は活動日です、しかも炎天下の中、草刈です。ビオトープも高齢化で今の時間帯は部屋でクーラーを効かせてゆっくりして居るのが普通だと思うがいつものメンバーは汗だくで頑張られています。そんな行動を見て、ひょっとしてこの人達「倒れないんじゃないのか?」とったりする。草が伸びるのは早く草刈も大変です。でも草が伸びるから、みんな元気なのかもしれない。いつまでも元気で皆さんと一緒に草刈をしたいものです。

( 若林 正治 記 )